

総会資料 今後の運動方針について

1. 今までのテーマと具体的な取り組み

(1) 会のテーマ

1. 侵略の実態を明らかにし、政府等にその責任をとらせるとともに、日本近代史を通じた戦前・戦後の歴史認識を問う。
2. 戦争や紛争を生み出す差別や抑圧・収奪をなくすため、日本の政治のあり方を問い、憲法9条の可能性をさぐる。

(2) 具体的な取り組み

1. 各課題で講演会や学習会などを企画する。
2. 沖縄やこの地域から見えてくる基地・軍隊、平和・人権の問題に取り組む。
3. 戦後補償・戦争責任の問題を明らかにしていく。
4. 歴史をねじ曲げるような日本人・日本社会の歴史認識を質していく。
5. 以上の事柄を進めるために、地域でのネットワークを進めていく。
6. ニュースを発行し、情報を提供・交換していく。
7. 事務所を維持し、交流の場としていく。
8. 全国・各地で志を同じくする他団体と情報を交換し、交流していく。
9. 平和・人権の関わる問題で納得できることなら積極的に関わっていく。

2. 重点及び今後取り組んでいきたいこと

(1) 小牧基地の基地機能強化反対の取り組み

小牧基地は、空の派兵拠点として機能を続け、C130 輸送機その他、空中給油輸送機の導入などもすすめ、機能強化をすすめています。昨年出された防衛大綱の下での中期防衛力整備計画の中で、新空中給油輸送機2機の導入も盛り込まれています。小牧基地のさらなる機能強化反対の取り組みも進めていきたい。

(2) 憲法＝集団的自衛権行使容認に向けての反対運動

新ガイドラインや派兵状況・・・独自の学習会や戦争をさせない1000人委員会への参加。
具体的な運動目標・・・集団的自衛権容認に向けた法改正に対しての反対運動を強化する。

(3) 沖縄

あいち沖縄会議へ参加し、辺野古の新基地建設、高江のヘリパット建設反対、普天間基地撤去の運動をしていく。

(4) 日韓問題（戦争責任・戦後補償なども含めて）

韓国併合100年東海行動実行委員会への参加。

具体的な目標・・・現在、日韓国交回復50年（日韓条約50年）、敗戦70年の取り組みを行う。

(5) 反原発・脱原発

未来につなげる・東海ネットへの参加。

(6) 名古屋 NGO センター

団体加盟として継続していく。

(7) 平和のための戦争展や、サマーセミナーなど平和の問題を訴えていく場に積極的に参加する。

(8) 全国的なつながりについては、反基地全国交流会が行なわれていたが、現在は休止中。

MLなどで緩やかなつながりは継続中。